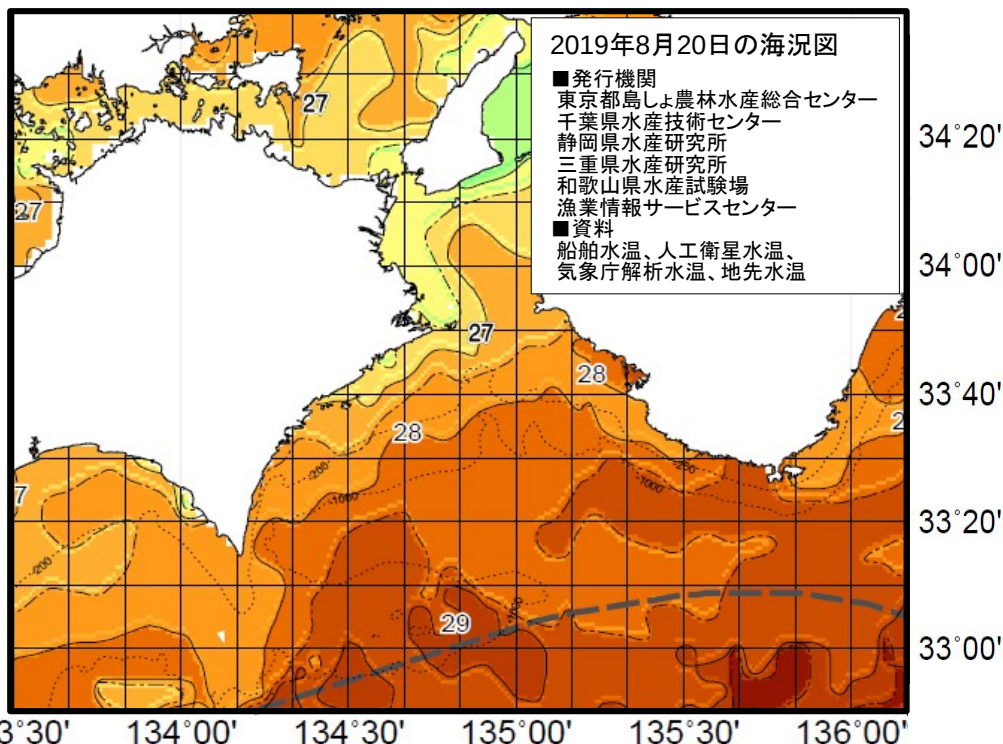


海況

1. 周辺海域の水温(8月14日～8月20日)

黒潮は、大蛇行の始点となる屈曲部が紀伊水道外域沖合で不規則に移動しており、14日には室戸岬沖、潮岬沖ともに「離岸」していたが、潮岬沖は15日頃から、室戸岬沖では19日頃から「やや離岸」となっており、20日現在、北縁が右図に現れるほど近づいている。この影響で南から暖水が波及している模様。

20日現在の徳島沿岸の海面水温は播磨灘と紀伊水道では26℃台、海部沿岸では26℃～27℃台、黒潮の表面水温は28℃～29℃台となっている。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸:～25NM やや離岸:25～45NM 離岸:45～65NM 著しく離岸:65NM～
潮岬沖 接岸:～26NM やや離岸:25～56NM 離岸:56～86NM 著しく離岸:86NM～

(いずれも正南方向)

海況図は、平日夕方に水産研究課HPの「地先水温情報」のページに、直近4日分を掲載しています。

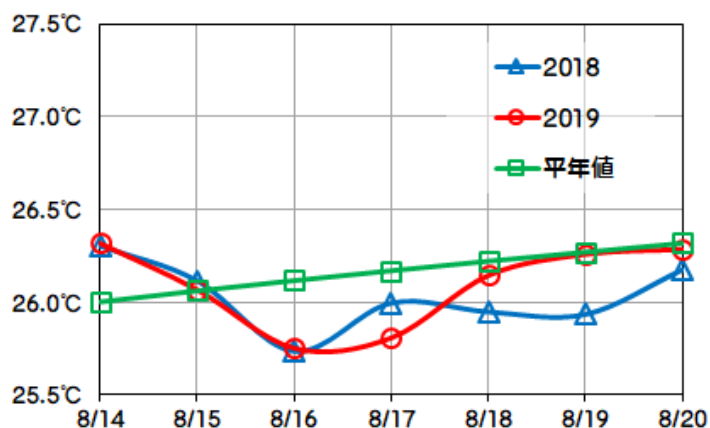
2. 地先水温(8月14日～8月20日)

鳴門地区の水温は、25.8℃～26.3℃で、16日～17日に台風10号通過の影響か低下したが「平年並み」の範囲で推移した。

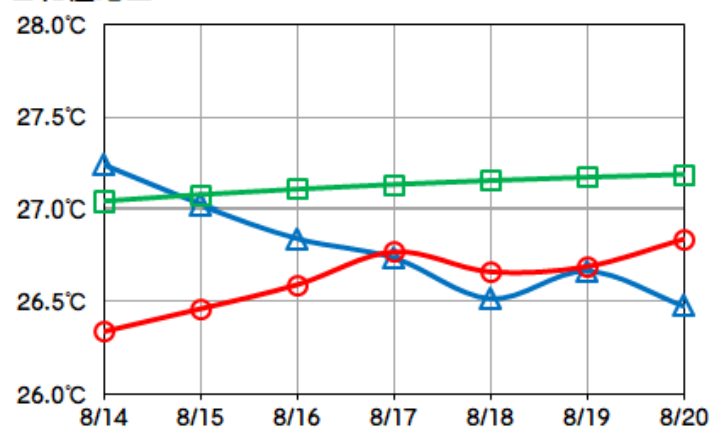
日和佐地区の水温は、26.3℃～26.8℃で、「やや低め」から「平年並み」に上昇した。

19日に牟岐、浅川で28℃台が観測されている。

鳴門地区



日和佐地区



※水温の高低 平年並み: 平年値±0.5℃未満, やや高め/やや低め: 平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め: 平年値±1.5℃以上2.5℃未満, かなり高め/かなり低め: ±2.5℃以上

※平年値 1984年～2018年の平滑平均値

3. 週間予報(8月21日～8月27日)

黒潮は、室戸岬沖では「やや離岸」、潮岬沖では「やや離岸」～「著しく離岸」で変動する見込み。

地先水温は、鳴門地区、日和佐地区とも「平年並み」で推移する見込み。

漁況 2019年8月12日～2019年8月18日

盆休み等で出漁隻・日数が非常に少なく、特に海部沿岸で水揚げが大きく減った。一方で、台風後に出漁したところでは比較的好調な水揚げがあった。

1. 紀伊水道（標本漁協：3）

船びき網は、期間中の出漁がなかった。

釣りでは、イサキが大主体に0.2ト水揚げされた。

延縄では、ハモが減って4.4ト、タチウオが大きく減って特大主体に0.3ト水揚げされた。

小型定置網では、マダイが大きく増えて0.7ト、ハマフエフキが大きく増えて大主体に0.7ト、ヘダイが大きく増えて0.7ト、イサキが大きく増えて大主体に0.6ト、カンパチが大きく増えて0.5ト、アイゴが減って0.3ト、マアジが大きく減って小小主体に0.2ト、メジナが大きく増えて0.1ト、ニザダイが0.1ト、ブリが増えてつばす級主体に0.1ト水揚げされた。

底びき網では、ハモが減って7.0ト、マダイが増えて0.4ト、タチウオが大きく増えて0.3ト、かます類が大きく増えて0.2ト水揚げされた。

2. 海部沿岸（標本漁協：4）

釣りでは、タチウオが減って0.5ト水揚げされた。

延縄では、アカムツが0.2ト水揚げされた。

小型定置網は期間中の出漁がなかった。

漁獲量集計表（漁獲が0.1ト以上のものを抜粋）

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比 [※]
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	釣り	7	イサキ	170	24	大主体	→
	延縄	25	ハモ	4,443	178		↘
		26	タチウオ	267	10	特大主体	↘↘
	小型定置網	13	マダイ	739	57		↗↗
		11	ハマフエフキ	734	67	大主体	↗↗
		11	ヘダイ	670	61		↗↗
		11	イサキ	625	57	大主体	↗↗
		13	カンパチ	513	39		↗↗
		10	アイゴ	269	27		↘
		9	マアジ	236	26	小小主体	↘↘
		5	メジナ	134	27		↗↗
	底びき網	8	ニザダイ	133	17		
		7	ブリ	131	19	つばす級主体	↗
		24	ハモ	7,050	294		↘
		20	マダイ	370	19		↗
海部沿岸	17	タチウオ	326	19		↗↗	
	21	かます類	193	9		↗↗	
海部沿岸	釣り	5	タチウオ	490	98		↘
	延縄	7	アカムツ	162	23		→

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘